空港整備事業等の費用便益分析における費用について

空港整備事業等における費用便益分析にあたっては、「空港整備事業の費用対効果分析マニュアル」及び「航空保安システムの費用対効果分析マニュアル」に基づき実施することとしていますが、費用便益分析における費用の透明化を図るため、添付の様式１～３にて内訳を作成することとしました。なお、当該費用内訳は、新規事業採択時及び再評価時の第三者委員会に提示します。

○担　当

航空局空港部計画課

航空局管制保安部保安企画課

費用便益分析における費用の内訳　　様式1

〇〇空港整備事業（空港の新設、滑走路の新設・延長等の事業）

【単位：百万円】

項目				単位	数量	費用	残費用（再評価時）	備考
工事費	土木工事							
		用地造成費						ILS用地造成を含む
			土工事	㎥				
			護岸工	m				
			埋立工	㎥				
			芝工	㎡				
			法面工	㎡				
			排水工	m				
			地盤改良工	㎡				
			雑工事	式				
		滑走路		m				
		誘導路		m				
		エプロン		㎡				
		道路・駐車場		㎡				
		場外排水施設		式				
		消防施設		式				
	建築工事							
		庁舎施設		㎡				
		車庫建物撤去		式				
	気象施設							
		航空気象施設		式				
	無線工事							
		管制塔施設						
			管制塔施設	式				用地造成、局舎建設を含む
			電源施設	式				
			機械施設	式				
		無線施設						
			無線施設	式				
			ILS施設	式				
			VOR／DME施設	式				用地造成、局舎建設を含む
			RADAR施設	式				用地造成、局舎建設を含む
		通信所施設						
			通信所施設	式				
			機械施設	式				
	照明工事							
		照明施設						
			進入灯火	式				用地造成、橋梁工を含む
			滑走路灯火	式				
			誘導路灯火	式				
			エプロン灯	式				
			飛行場灯台	式				
		電源施設						
			電源局舎	式				
			電源施設	式				
			幹線ダクト	式				
用地費	用地取得費			㎡				各工事の用地取得費を計上
	補償費			式				各工事の補償費を計上
間接経費				式				調査設計費、諸経費等
管理運営費	改良・再投資費			式				
合計（税抜）								

注）

① 費用算出にあたっては、土木工事標準歩掛、空港請負工事積算基準等、及び過去の実績等を参考に算出し、根拠を明確にしておくこと。

② 改良再投資費：評価期間中に耐用年数に達する資産の更新に係る費用を計上する。

③ 再評価時には、再評価年度前年までの実績値、既投資実績を基に、必要に応じて数量、費用の見直しを行うこと。
なお、再評価年度以降分については、残費用欄に計上すること。

④ 様式は原則を定めるものであり、個別事業に応じて必要が生じた場合には項目の変更を行う。

費用便益分析における費用の内訳　　様式2

〇〇空港　精密進入の高カテゴリー化・双方向化整備事業

【単位：百万円】

項目				単位	数量	費用	残費用（再評価時）	備考
工事費	土木工事							
		用地造成費						
			土工事	㎥				
			護岸工	m				
			埋立工	㎥				
			芝工	㎡				
			法面工	㎡				
			排水工	m				
			地盤改良工	㎡				
			雑工事	式				
		滑走路		m				
		誘導路		m				
		道路・駐車場		㎡				
		場外排水施設		式				
	気象施設							
		航空気象施設		式				
	無線工事							
		無線施設						
			ILS施設	式				
	照明工事							
		照明施設						
			進入灯火	式				用地造成、橋梁工を含む
			滑走路灯火	式				
			誘導路灯火	式				
		電源施設						
			電源局舎	式				
			電源施設	式				
			幹線ダクト	式				
用地費	用地取得費			㎡				
	補償費			式				
間接経費				式				調査設計費、諸経費等
管理運営費				式				
合計（税抜）								

注）

① 費用算出にあたっては、土木工事標準歩掛、空港請負工事積算基準等、及び過去の実績等を参考に算出し、根拠を明確にしておくこと。

② 管理運営費：評価期間中に耐用年数に達する資産の更新に係る費用及び維持管理費を計上する。

③ 再評価時には、再評価年度前年までの実績値、既投資実績を基に、必要に応じて数量、費用の見直しを行うこと。
なお、再評価年度以降分については、残費用欄に計上すること。

④ 様式は原則を定めるものであり、個別事業に応じて必要が生じた場合には項目の変更を行う。

費用便益分析における費用の内訳　　様式3

〇〇航空路監視レーダー整備事業

【単　位：百万円】

項目			単位	数量	費用	残費用（再評価時）	備考
工事費	土木工事						
		用地造成	㎡				
	建築工事費						
		局舎建設	㎡				
	無線工事						
		通信設備	式				
		電源設備	式				
		機械設備	式				
用地費	用地取得費		㎡				
	補償費		式				
間接経費			式				調査設計費、諸経費等
管理運営費			式				
合計							

注）

① 費用算出にあたっては、土木工事標準歩掛、空港請負工事積算基準等、及び過去の実績等を参考に算出し、根拠を明確にしておくこと。

② 管理運営費：評価期間中に耐用年数に達する資産の更新に係る費用及び維持管理費を計上する。

③ 再評価時には、再評価年度前年までの実績値、既投資実績を基に、必要に応じて数量、費用の見直しを行うこと。
なお、再評価年度以降分については、残費用欄に計上すること。

④ 様式は原則を定めるものであり、個別事業に応じて必要が生じた場合には項目の変更を行う。